

## 2019年度第2回理事会 議事録

一般社団法人日本損害保険代理業協会

日 時：2019年6月13日（木）12：58～17：00

会 場：日本代協会議室（東京都千代田区有楽町1-12-1 新有楽町ビル321区）

出席者：全理事数18名、出席理事数18名、出席監事数3名（杉本恭三、渡辺眞一、吉川正幸）

会長 金子智明氏は、議長席につき、出席理事数の確認を行い、本理事会は有効に成立した旨を報告して、開会を宣し、直ちに議事に入った。

### 会長挨拶骨子

・47都道府県代協の総会が無事終了した。全総会に地域担当理事を中心に日程調整を行い、日本代協理事が参加し、「事業推進に対するお礼」ならびに「経営努力を重ね、本業を推進することの重要性」および「会員個々の努力だけでは実現が難しい課題に対応するために代協が存在し、支援策があること」をしっかりと伝えることができた。また時間を工面し、各地の損保各社への挨拶訪問も実践し、関係構築を進めることもできた。今後のフォローをお願いします。

#### ・最近気になった動向

高齢者向けの新運転免許：6月11日の日経記事に掲載されたが、高齢者の交通事故の多発が深刻な社会問題になっている中、政府は高齢ドライバー専用の新しい運転免許をつくる方針を打ち出した。75歳以上を想定し、自動ブレーキなど安全装置がついた車種のみ運転できるようにする。ただ、普通免許からの移行は義務として強制するのではなく、選択制を軸に検討している。我々は免許返納の働きかけというよりも、日々、情報収集等研鑽を行い、しっかりと顧客にアドバイスすることが重要だと感じた。

地銀の純利益の減少：6月11日の日経記事に地銀の経費削減の腐心状況が掲載されていた。「銀行窓口で保険や投資信託を販売して得る手数料収入も貴重な収入源の一つ。だが、金融庁が銀行に対して顧客目線に立った販売を強く求めていることもあり、『商品説明に時間をかけるようになった結果、販売額は減った』」という地銀関係者のコメントが載っていた。従来の利益志向の体質から顧客志向の体質への変革がままならない状況を表すコメントと考える。

明日は令和最初の通常総会、会長懇談会を迎える。新しいスタートを、全代協が一体感をもって事業推進を展開できるよう、盛り上げていただきたい。

### 【審議事項】

#### 1. 各委員会への諮問・推進事項

議長より、本年度各委員会の諮問・推進事項を以下の通りとしたいとの提案があり、審議採決の結果、全会一致をもって承認された。

【決定したこと】

< 委員会名 >

< 諮問・推進事項 >

企画環境委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 募集実態のモニタリングと具体的対応の実施</li> <li>・ 代理店賠償の推進(含む保険会社社員の理解促進)と募集上の留意点の情宣</li> <li>・ 共通化・標準化の推進</li> <li>・ チャネル競争力強化策、消費者・契約者に代理店の価値を伝える施策の検討、提示</li> </ul>
教育委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日本代協アカデミー(NDA)の展開(含む各委員会との連携によるコンテンツの充実)</li> <li>・ 損害保険大学課程の運営・検証・改善</li> <li>・ 代理店の収益向上・体制整備強化に資する好取組事例の収集と展開</li> </ul>
組織委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 情報と熱が伝わる組織作りの推進</li> <li>・ 各代協ならびに各会員のHPの活用推進(広報と連携)</li> <li>・ 「仲間づくり」の推進</li> </ul>
C S R 委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ぼうさい探検隊の積極推進</li> <li>・ 中小企業のサイバーセキュリティ対策の啓発活動の実施</li> <li>・ 防災・減災の具体的な取組みの検討(含むハザードマップの活用推進等)</li> </ul>
広報委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日本代協HPの抜本的改定の実施</li> <li>・ 日本代協及び損害保険トータルプランナーのブランド向上に向けたPR施策の検討・実施</li> <li>・ 代協の魅力を伝える動画の制作</li> <li>・ 「みなさまの保険情報」の活用推進</li> </ul>
ビジョン委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各会員資格と会費モデルの提供</li> <li>・ 大規模災害時の鑑定補助制度創設に向けた検討と折衝</li> <li>・ 代理店の体質強化に向けた支援策の検討・提供 (代理店経営サポートデスクと連携した施策、ツール、帳票等の提供)</li> </ul>
機関紙	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日本代協ニュースの発行による代協加盟代理店への情報提供</li> </ul>
コンベンション	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2019年度コンベンション開催に向けたアクションプランの策定・実行と当日の運営</li> </ul>

全委員会が日本代協アカデミーのコンテンツづくりに関わる。

なお、「ハッピーリタイアメントプランの検討・提言」については、企画環境委員会とは切り離し、別途、少人数で研究会を立ち上げ、好取組事例の収集などに取り組む。人選は会長に一任する。

【主な説明】(主に青字の変更点に関する内容)

- ・ 苦情処理の比重を下げ、代理店の将来を見据えた積極的な対応策の検討に比重シフト(企)
- ・ 保険会社社員を巻き込んだ「代理店賠償の普及策」を踏み込んで検討(企)
- ・ 共通化・標準化の取組みを推進する。自賠キヤッスレス化、レジペイスマホ化等(企)
- ・ ホジティブ思考でチャネル競争力強化策を検討。(含む地域専門家ネットワークづくり)(企)
- ・ 日本代協アカデミーと代理店賠償は、代協加入のメリットの大きな柱。(組)
- ・ 各代協の全会員に情報が伝わる運営体制づくりを行う。情報共有 NEWS 発行、広報委員会と

- 連携した各代協 HP のパトロールと活用推進、好取組事例のアカデミーコンテンツ化等(組)
- ・統廃合による退会増を想定して、ポジティブに推進するために「会員増強」から「仲間づくり推進」運動に名称改定、改定した「三冠王」は、全代協が狙える内容としており、各代協に本気の取り組みを促す(組)
- ・自然災害対策・サイバーセキュリティ対策が業界の喫緊の課題(CSR)
- ・コンベンションの会員懇談会の声の反映(代協の魅力伝える動画制作)(広)
- ・改正業法施行から3年が経過、合併退会増を想定の上での各代協運営を要検討(会員資格と会費モデルの提供)(ピ)
- ・代理店経営サポートデスクが創設できた。小規模代理店向け BCP 手順書の提供、前向きな合併支援、体制整備支援、中小企業事業承継対策などから進める(ピ)

〔席上配付資料〕 0701 掲載予定の新日本記事 日本代協代理店経営サポートデスク紹介  
(席上配付資料 P.3-5)

## 2. 委員会委員の交代

事務局より、ブロック推薦の企画環境委員会委員の交代について、報告があり、審議、採決の結果、全会一致をもって承認された。

### 【決定したこと】

- ・企画環境委員の交代：四国ブロック選出の委員の交代

新 安富 良 氏 (有)さめき総合保険

旧 青地 和典 氏 (有)ウイズ

一身上の都合のため

〔資料 審2.〕ブロック選出委員の交代/ブロック長推薦書(P.1)

## 3. 日本代協アカデミーの展開

石川教育委員長より、日本代協アカデミーの展開について、提案があり、審議、採決の結果、全会一致をもって承認された。

### 【決定したこと】

「各代協におけるID登録会」の開催

7月末を目途に、「日本代協アカデミーの創設の背景と必要性説明・ID登録会」を各代協会長主催で開催する。各会長自らが創設の背景・必要性を熱く語っていただき、参加者(原則、代協役員、支部長は全員参加を要請)にはノート型PC・タブレット、従業員のメールアドレス等を持参いただき、その場でID登録を進め、コンテンツを視聴、試行する。

(現状：創設の背景・必要性が伝わっていない。ITリテラシー問題以前に面倒だから登録していないという会員も散見される。)

「会員のニーズ把握や好取組取材候補先推薦」のブロック協議会議題への盛り込み

会員の声の吸い上げ、ベストプラクティス実践会員の推薦は、各代協の協力が不可欠であり、ブロック教育委員・ブロック長・各代協会長との情報連携が必要である。代協の、代協による、代協[会員]のための仕組みであり、参画意識の醸成のためにも、連携が必要である。ブロック協議会のテーマに盛り込み、推薦いただく仕組みとしたい。好取組事例は、高齢者対応などテーマを事前にお知らせするので、各代協の情報をブロック協議会で共有のうえ推薦いただきたい。

(現状：好取組を実践しているが、事例の開示に積極的でない会員が多く、ベストプラクティス収集に苦勞している。また会員の声・ニーズの把握も地域に偏りが見られる。)

「特別会員である保険会社社員のネットチャンネル利用」

代理店認定の「教育・管理・指導」に関する要件の判定方法に、「日本代協アカデミーの利用状況」を盛り込んでいただいた保険会社もあり、要件判定に関わる社員や利用要望のある社員が利用できるようシステム改修を日企社に依頼する。(現状では正会員番号に紐付けて対象者を限定している。)今後の「仲間づくり推進」の強力な味方づくりにもつなげる。

#### 【主な内容】

- ・ID登録状況、コンテンツ制作状況については、資料の通りである。
- ・お試し期間は従来6月末までと設定していたが、9月末まで延長した。登録・試行利用状況が低迷しているが、各地を訪問した結果、「創設の背景や必要性が周知できていないこと」が大きな原因と分かった。改めて丁寧な説明が不可欠と判断した。

なお、決定、案内の手順について不備があり、お詫びする。

- ・今後の利用者拡充には、日本代協アカデミーの創設の背景や必要性に関する周知がポイントとなる。中途半端な代理店・募集人は業法で排除され、自分本位の業務運営から抜け出せない代理店・募集人は消費者が排除する時代となるという環境認識を共有し、一歩先を行く代協会員のために、その対応策として創設し、皆で作りに上げていくものであることを教育委員だけでなく、全役員・全委員・各代協全役員で熱をもって情報を伝えていくことが不可欠である。

6/5開催の教育委員会合同PT(全教育委員が参加)にて、「各代協におけるID登録会開催」が有効な対策と共有され、理事会に上程することとなった。7月末を目途に各代協にて、日本代協アカデミーの創設の背景と必要性・ID登録会を開催いただく。(各会長自らが熱く語っていただき、参加者にはノート型PC・タブレット、従業員のメールアドレスを持参いただき、その場でID登録を行う。)

- ・コンテンツの充実のために、PTメンバーを中心に、事務局、日企社と最低でも月1回以上WEB会議等でコンテンツの企画・編集会議を行うことを改めて共有した。学習コンテンツは企画完成後に3~4か月、情報コンテンツでも取材型で1週間から2週間、講演型では2週間から1か月程度必要となるというスケジュール感を共有し、スピード感をもって制作に当たる。
- ・登録推進上の要望として、募集人を多く抱える法人向け請求書払、新入会員用の数か月お試し期間の設定、登録ヘルプデスクの設置、携帯電話番号や募集人IDの日本代協アカデミーID化、各代協事務局へのID/PW付与等が上げられ、システム対応の可否やコストチェックなどの検討に入る。

〔資料 報2.-1〕日本代協アカデミー利用者登録数ならびにPRチラシ(P.4-6)

〔資料 報2.-2〕日本代協アカデミー・コンテンツリスト(P.7)

〔席上配付資料〕2.日本代協アカデミー・コンテンツリスト20190605(席上配付資料P.2)

〔資料 報2.-3〕日本代協アカデミーネットチャンネル創設の背景、必要性(別冊配付)

## 【報告事項】

### 1. 2019 年度 事業計画推進状況

地区担当理事ならびに委員会担当理事から、事業計画の進捗状況について、報告があり、確認、共有された。

なお、各代協総会に参加した理事からの報告を受け、6月末までに「良かった点、改善が必要な点」などの気づきを事務局あて報告することとなった。ビジョン委員会で検討し、一般社団法人運営マニュアルの改定に反映させる。

<地区担当理事> 事前提出資料以外の特記事項を以下に記載

- ・各代協の総会参加に当たり、3つのテーマをもって臨んだ。各代協役員・会員とのコンタクト強化、各地の保険会社との関係強化、損保協会とのコンタクト強化である。この結果、損保協会とのコラボセミナー企画が数々進められた。
- ・総会・セミナー・懇親会の企画・運営（招集通知の構成[名称、財務諸表種類・順序、式次第順序、倫理綱領・募集規範等]、会場席次、国旗・会旗の位置などを含む会場設営、保険会社や損保協会の参加の有無等）について、各代協にかなりのバラツキがあることが確認できた。標準化していくことが望ましいと感じた。
- ・群馬県代協、徳島県代協では、各会長の熱い思いが結実し、会費体系の改定が決議された。
- ・会長懇談会では、各会長に情報と熱を持ち帰っていただきたいと考え、分散会テーマの「2019年度の各代協のグランドデザイン」の論議を活性化するために、20項目の投げかけテーマを準備した。また一体感を醸成するために各代協の実態を表す指標・事業活動一覧表も準備した。
- ・通常総会参加報告として、日程・会場、セミナーテーマ・講師、参加者数・出席率、理事所感をまとめた。
- ・7/3 福岡県代協筑豊支部セミナー：トップ保険サービス野嶋社長による「BCPセミナー」、7/9 福岡県代協北九州西支部セミナー：AIG 損保相田彩子 RMS 課長による「BCPの準備と対策」、7/19 熊本県代協青年部会主催合同例会：「保険代理店の働き方改革とは」など素晴らしいセミナーの企画運営が進んでいる。

<委員会担当理事>

- ・ビジョン：報告シートの通り。6/26の次回委員会で検討を進める。
- ・広報：報告シートの通り。ホームページリニューアルは11月のコンベンションでのリリースへ向け、作り込みを進めている。6/20委員会で「2019年度PR企画B I D」を行う。2018年度動画の利用伸展対策も検討する。
- ・CSR：報告シートの通り。ぼうさい探検隊は11/6（水）必着。問い合わせ体制・フォロー体制を整える。無保険車追放は国交省からの強い要請により全国統一で、自動車盗難防止は、東京・岐阜・福岡・沖縄で行う予定である。
- ・組織：「仲間づくり推進」は5月末、入会63店に対して退会217店（昨年は入会31、退会111）。A I GやS J N Kで、F D宣言やK P Iの策定・掲示やH P公表が認定代理店評価に加わっている。情報伝達のための共通ツールとして「情報共有NEWS」を委員会後に発行する。

- ・教育：報告シートの通り。コンサルティングコースセミナーが7月～2月まで連続8か月にわたり、全国で開催する。運営のご支援をお願いする。懸案事項だったTPバッジの作成、顔写真入りゴールドカードの発行に目途がたった。
- ・企画環境：報告シートの通り。年式による車検台数増と消費税増税により、乗換需要が見込まれる。ディーラーの下取りに対抗できる「JCMの買い取り」を事前に顧客提案し、顧客流失防止を図ってほしい。代理店賠償PPTも6月末提供を目指し取り組んでいる。

〔地区別委員会別資料〕

## 2. 2019年度「仲間づくり推進」の実施 5月末の報告

事務局より、資料に基づき、「仲間づくり推進」の実施5月末状況の報告があり、確認、共有がされた。

### 【主な内容】

- ・2019年5月末会員数は、対前年度末 154店で総計11,991店と12,000店を割り込んだ。入会者63店に対して、退会者217店（うち144店66.4%が合併等による退会）だった。（2018年5月末では、入会31店、退会111店、合計▲80店）
- ・入会数目標の達成状況は、鳥取が2店/目標2店で目標達成、奈良が3店/目標4店と75%、大阪56%、石川・岡山・佐賀50%、新潟・福岡40%と続いている。
- ・代申社別では、増店は、大同+1店のみで、東京海上日動▲47店、損保ジャパン日本興亜44店、三井住友20店、あいおい▲16店、AIG12店など減店となった。
- ・換算組織率70%超代協：京都77.9%、高知76.9%、香川74.9%の3代協。
- ・各代協では、表彰基準とした入会ベースの目標の早期達成を目指すとともに、安定的かつ積極的な運営を行うために必要な会員数を再確認いただき、仲間づくり推進の活動展開をお願いする。

〔資料 報1.〕2019年度「仲間づくり推進運動」5月末状況の報告(代協別/代申社別) (P.2-3)

## 3. 日本代協アカデミーネットチャンネルの展開状況

石川教育委員長より、審議事項審議ならびに委員会報告の際に、資料に基づき、ID登録状況、コンテンツ制作状況について報告があり、確認、共有された。

〔資料 報2.-1〕日本代協アカデミー利用者登録数ならびにPRチラシ (P.4-6)

〔資料 報2.-2〕日本代協アカデミー・コンテンツリスト (P.7)

〔席上配付資料〕2.日本代協アカデミー・コンテンツリスト20190605 (席上配付資料P.2)

〔資料 報2.-3〕日本代協アカデミーネットチャンネル創設の背景、必要性 (別冊配付)

## 4. 損害保険大学課程

事務局より、資料に基づき、(1)損保大学課程の各コースの認定状況等、(2)認定者メリット・魅力アップ策の検討状況や実施予定等について報告があり、確認、共有された。

「消費者向け周知チラシの改定」、「トータルプランナー専用サイトの改定」、

「認定バッジ/顔写真付き認定証の作成」について報告があった。

### 【主な内容】

- ・2019年4月末時点の認定有効「損保トータルプランナー」は12,331名（累計認定取得者は13,983名）、専門コースのみの認定有効「損保プランナー」は42,523名（累計認定取得者は68,836名）である。
  - ・PDF型認定証12,768枚に対して、カード型認定証は6,178枚に留まっている。
  - ・認定者メリット・魅力アップ策の一環として、「消費者向け周知チラシ」を改定した。損保トータルプランナー専用ページも改定されているので、活用いただきたい。  
<http://www.sonpo.or.jp/efforts/exam/dairiten/daigakukatei/totalplanner/>
- また、継続検討課題であった「バッジ・顔写真付きカード型認定証の作成」について、12月から発行、販売開始ができるよう最終調整に入っている。

〔資料 報3.-1〕 損保大学課程の各コースの認定状況等（P.8-9）

〔資料 報3.-2〕 認定者メリット・魅力向上策（P.10-14）

## 5. 広報PR企画の視聴状況

広報委員会野原委員長より、資料に基づき、各代協のPR企画の再生状況について報告があり、確認、共有された。

### 【主な内容】

- ・富山10,873回、沖縄8,227回、熊本5,662回、高知4,309回、滋賀4,166回と再生回数が増えている代協がある一方で、1,000回未満の代協も17代協ある。各代協において「情報と熱を伝える仕組み、消費者にPRする仕組み」が機能しているか否かの一つの指標としてチェックいただきたい。委員会ではバラツキの原因や視聴者属性データの把握を行う。

〔資料 報4.-1〕 各代協のPR企画動画の再生状況（P.15）

## 6. 業界最新動向

事務局より、業界の最新情報について報告があり、確認、共有された。

### 【主な内容】

- ・金融庁のホームページで、FD宣言・KPIの公表リストが更新された。乗合代理店でFD154店・KPI47店、損保代理店でFD3店・KPI1店という状況。拙速で出す必要はなく、実態を十分に詰めたうえでの公表でよい。今、自社のあり方を見直すことが重要である。AIG社では、他社対抗策の一環として、認定代理店クラスは全代理店が公表するとしている。KPI目標を達成することが目的化してしまい、本来の顧客本位の業務運営の遂行に歪みが出ないようにしなければならない。
- ・第一生命や日本生命は「保険募集代理店に支払う販売手数料の考え方」を公表した。日本生命は4月から生保代理店の手数料体系を見直し、品質ランクを加え、「自己点検未解決の有無」、「25か月目継続率85%以上（85%未満はランク下げ）」、「FPなどの専門資格者割合」などを設定し、ランク付けで約3割の差が出るように変更した。金融庁と業界団体との意見交換会の論点となった「一般乗合代理店に対するインセンティブ報酬」について対応した形である。販売量や特定商品への上乗せ、ボーナス報酬ではなく、「業務品質」と「お客様本位の業務運営体制」という項目で代理店を評価する。

(教育費用や表彰費用、広告費や販売促進費などのマーケティングコストに関する報酬の要求が多い実態をみて、認可事項ではないが、金融庁は顧客本位の業務運営の観点から是正が必要と判断した。生保協会からガイドラインが出され、各社が対応している。手数料の支払方式もL字型ではなく平準型に移行しており、多くの大型生保販売代理店が収益確保に腐心している。ほけんの窓口は、当初より健全運営のために平準型を選択しており、運営は今回の改定動向に左右されていない。)

- ・某自動車メーカーの販売店役員のハイレベルな打合せ内容を確認した。自動車保険の収益が減ることを前提としてnon autoすなわち自動車保険以外をオールラインでどうやって囲い込むかについて真剣な論議が行われていた。(自社内での専門家育成、プロ代理店の買収、提携などの方法論まで)
- ・「損保クラウド」という代理店用のセキュリティ対策のプラットフォームで東京海上日動がNTTコミュニケーションズと一緒に構築し、全社に開放するとのことである。日々の代理店業務にはたくさんの危険が隣合わせとなっている。標的型攻撃対策、添付ファイル暗号化、メール誤送信防止、不正アクセス防止、端末・タブレット対策となるセキュリティ対策サービスで、月額運用費用980円/1ID当たりで提供する。損保業界の共通のインフラとして強く推奨することになる。
- ・前回理事会で説明した「+メッセージ」(金融機関横断の共通手続きプラットフォーム)の活用と合わせて検討いただきたい。
- ・自賠償保険のキャッシュレス化の検討が損保協会でも始まっている。キャッシュレスによって新たな費用負担が発生することのないように連携を深める。
- ・企業規模を問わず労働時間把握義務への対応が必須となる。労働時間把握義務が、労働基準法ではなく、労働安全衛生法側に定められたことは、残業代の未払いというよりも健康管理のための労働時間把握が重要であると立法者が考えている。サービス残業はもちろんのこと、過労死ラインを超えるような長時間労働に対する労基署の取り締まりも、実務上厳しくなると想定される。より労働者の権利に厳しいドイツでは裁量労働制が廃止になるような判決が示され、論議になっている。

〔資料 報 5.-1〕 0521 保毎記事 FSA「顧客本位の業務運営」公表リスト更新 (P.16)

〔資料 報 5.-2〕 ふうたのワンポイントレッスン part4 vol.2 (P.17-18)

〔資料 報 5.-3〕 第一生命「保険募集代理店に支払う販売手数料の考え方」(P.19)

〔席上配付資料〕 日本生命の生保代理店手数料体系 品質ランク (席上配付資料 P.27-28)

## 7. その他

事務局より、下記資料に関する報告があり、確認、共有がされた。

〔資料 報 6.-1〕 防災経済コンソーシアム防災情報ページ (P.20-21)

地震被害想定シミュレーションシート (P.22-24)

洪水被害想定シミュレーションシート (P.25-27)

〔資料 報 6.-2〕 0528 保毎記事 東京代協通常総会 (P.28)

〔資料 報 6.-3〕 0527 新日本記事 神奈川県代協通常総会 (P.29)

〔資料 報 6.-4〕 0598 保毎記事 埼玉県代協通常総会 (P.30)

〔資料 報 7.〕 各代協の2019年度総会日程およびセミナーテーマ・講師等 (P.31)



- 〔資料 報 8.-1〕 2018 年度発生した風水災に係る各種保険の支払件数等年度末調査(P.32)
- 〔資料 報 8.-2〕 2018 年度発生した風水災に係る各種保険の支払件数等(都道府県別)(P.33-36)
- 〔席上配付資料〕 新日本掲載予定記事 日本代協代理店経営サポートデスク紹介(席上配付資料 P.3-5)
- 〔席上配付資料〕 国民年金基金取次業務事務要領-大阪代協版(席上配付資料 P.6-12)
- 〔席上配付資料〕 0603 新日本記事 静岡県代協総会(席上配付資料 P.13)
- 〔席上配付資料〕 0605 保毎記事 神奈川県代協総会(席上配付資料 P.14)
- 〔席上配付資料〕 0606 保毎記事 大阪代協総会(席上配付資料 P.15)
- 〔席上配付資料〕 0606 日経夕刊記事 ペイペイ不正利用詐欺(席上配付資料 P.16)
- 〔席上配付資料〕 0607 保毎記事 岡山県代協総会(席上配付資料 P.17)
- 〔席上配付資料〕 J C M 買い取り事例/5 月末実績(席上配付資料 P.18-20)
- 〔席上配付資料〕 J C M 買い取り推進ちらし/活動支援提案(席上配付資料 P.21-24)
- 〔席上配付資料〕 日本代協アカデミー I D 登録推奨ちらし(席上配付資料 P.25-26)
- 〔席上配付資料〕 福岡県代協筑豊支部 B C P セミナーちらし(席上配付資料 P.29)
- 〔席上配付資料〕 0611 保毎記事 静岡県代協総会(席上配付資料 P.30)

### 【監事講評】

杉本監事から、以下の通り、監事報告がされた。

「山口副会長のリードにより、スムーズな議事進行ができ、適切に審議決定されたものと判断する。

各役員の各代協総会対応に感謝申し上げます。

諮問事項の審議で各委員会への諮問・推進事項が承認されたが、他の委員会と共有・連携する項目が多く、相乗効果が期待できる。各委員会がそれぞれの諮問推進事項を推進することで全体の底上げが期待できると感じた。

また、各理事による全 47 都道府県代協の総会参加は、活動の濃淡含む各代協の実態や取組姿勢も確認でき、代協事業推進にいいスタートとなったと考える。

6/28-29 に G20 大阪サミット 2019 が開催に際して、大阪をはじめ周辺都市で開催日前後から特に大規模な交通規制や厳重警備が行われる。また来月は参議院議員選挙もあり、忙しくなるが、状況を想定したうえでの事業計画推進をよろしく願います。」

以上

<今後のスケジュール>

2019年06月～2020年03月のスケジュール（案）

損保会館の予約状況ならびに会議室のあり方の改定状況によっては、日程の変更がありますので、予めご了承ください。

6月13日(木)	10.30～12.00 13.00～17.00	正副会長打合せ 第2回理事会	日本代協 会議室
6月14日(金)	10.00～ 12.30～13.30 13.30～17.00 17.15～18.15 18.30～19.30	来賓ご挨拶／通常総会 政治連盟臨時時代議員会 第1回全国会長懇談会 セミナー(サイバーセキュリティ対策の啓発:警視庁) 同上懇談会(有志・立食・会費制を予定)	損保会館2F(大会議室)確定  損保会館(3F)
7月10日(水)	13.30～17.30	理事合宿	日本代協 会議室
7月11日(木)	9.30～12.00 14.30～15.30 16.00～17.30 17.45～20.00	理事合宿 (7社懇 事前打合せ) 損保7社懇談会(正副会長、教育・組織委員長) 懇親会	日本代協 会議室 会場 未定
7月12日(金)	10.30～12.00 13.00～17.00 17.00～18.30	正副会長打ち合わせ 第3回理事会 テーマ:通常課題 セミナー:AI関連	日本代協 会議室  (有志懇親会 有)
7月19日(金)	15.30～17.30 17.45～20.00	業界紙懇談会(会長、広報担当副会長、広報委員長) 懇親会	日本代協 会議室 懇親会あり 会場 未定
7月24日(水)	15.00～17.30 17.45～20.00	活力研(正副会長、企画環境・ビジョン委員長) 懇親会	日本代協 会議室 懇親会あり 会場 未定
9月12日(木)	10.30～12.00 13.00～17.00	正副会長打合せ 第4回理事会 テーマ:通常課題	日本代協 会議室
9月13日(金)	11.00～17.00 17.00～18.10 18.20～19.30	第1回ブロック長懇談会 特別セミナー 同上懇親会(有志・会費制)	損保会館 大会議室 会場 損保会館3F食堂
10月10日(木)	10.30～17.00	正副会長専務理事常務理事打合せ	日本代協 会議室
10月11日(金)	9.30～10.45 11.00～17.00 18.00～	正副会長打ち合わせ 第5回理事会 テーマ:通常課題 損保協会との懇談会(損保協会 主催) (正副会長と3理事)	日本代協 会議室 会場 とうふ屋うかい 芝
11月1日(金)	13.00～20.00	第9回日本代協コンベンション	グランドニッコー東京 台場
11月2日(土)	10.00～12.00	第9回日本代協コンベンション分科会	損保会館、ホテルジュラク他
12月9日(月)	10.30～12.00 13.00～17.00	正副会長打合せ 第6回理事会 テーマ:通常課題	日本代協 会議室
12月10日(火)	11.00～17.00 17.00～18.00 18.10～19.30	第2回ブロック長懇談会 セミナー 同上懇親会(有志・会費制)	損保会館 大会議室 会場 損保会館3F食堂
2月7日(金)	9.15～10.15 10.30～12.00 13.00～17.30 18.00～	正副会長打合せ 財務委員会 第7回理事会 テーマ:事業計画案、他通常課題 損保協会との懇談会(損保協会 主催) (正副会長と3理事)	日本代協 会議室  会場 未定
3月9日(月)	10.30～12.00 13.00～16.30 16.30～17.00	正副会長打合せ 第8回理事会 正副会長と議長の打合せ	日本代協 会議室  (懇親会 有志理事と議長候補者)
3月10日(火)	10.00～12.00 13.00～18.00 18.10～19.30	臨時総会 政連通常代議員会・第2回全国会長懇談会 同上懇談会(有志・立食・会費制を予定)	損保会館 2F(大会議室) " 会場 損保会館3F食堂

